



10月10日(木) 歴史と味に触れた全校遠足
さんぼく南小学校

恒例行事の全校遠足が行われ、出羽街道を歩きました。児童たちは蒲萄峠の漆山神社を出発し、大沢集落を経て、大毎集落に到着。地元の人たちと一緒に、くるみ味噌を塗ったおにぎりを焼く郷土料理「けんさ焼き」を作り味わいました。6年生の本間千夏さんは「けんさ焼きもおいしいかったですし、また出羽街道を歩きたい」と笑顔で話していました。



10月20日(日) 「遊びの秋！食欲の秋！」
あらかわ地区まちづくり協議会

子どもたち自身が遊びを感じ・考え・試してみることでできる「冒険遊び場」をあらかわ総合運動公園に作ろうと「遊びの秋！食欲の秋！」を開催しました。

当日は悪天候により、会場を管理棟に移してパン作りや手作りの楽器を使った演奏会などが行われ、会場内には子どもたちの元気な笑い声が響きわたっていました。

村上的名産品がズラリ

10月27日(日) 市民ふれあいセンター



環境フェスタと同時開催された大物産まつりには、村上的名産品がズラリと並びました。訪れた大勢の人は、たくさんのお目当ての品々を購入していました。訪れた市内布部在住の人は「いろいろなものがあって楽しませてもらいました。」と少し興奮ぎみに話していました。

むらかみの話題

このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。

地元ピアニストによるコンサート

10月19日(土)・20日(日) 神納東地域まちづくり協議会



神納東小学校を会場に、新潟県立大学の石井玲子准教授のピアノコンサートを開催しました。「自然豊かな地域で暮らしたい。」と7年前に家族で山屋集落に移り住んだ石井准教授が、この地域でコンサートを行うのは初めてのこと。

会場を訪れた人たちは、美しいピアノの音色に酔いれました。



10月20日(日) 140年の歴史と伝統をたたえて
猿沢小学校ほか

体育館で行われた式典では、厳かな中にも歴史と伝統をたたえるあいさつに拍手が送られました。その後、全校児童による詩文発表と合唱が行われ、凛々しい声が体育館に響き渡りました。

式典後、総合文化会館で行われた記念コンサートでは、校歌を作詞した(故)平井康三郎氏の孫にあたる平井李枝さんのピアノ演奏と歌声に、来場した約300人が酔いれました。最後に、来場者全員で「とんぼのめがね」「ちいさい秋みつけた」「校歌」の3曲を歌ってフィナーレを飾りました。

収穫の喜びを分かち合う

10月27日(日) 早稲田集落



早稲田集落で農家組合主催による恒例の収穫祭が行われました。当日は、地域の人とのコミュニケーションを図るため、新潟大学の学生11人も参加。杵つき餅や手づくり餃子、鮎の串焼きなど、集落の逸品料理を共同で作りました。約50人の参加者は、一年の収穫に感謝し、喜びを分かち合いました。



11月1日(金) 大川河口
先人の知恵が生きるコド漁

山北地区の大川では、毎年、鮎の習性を利用してコド漁と呼ばれる全国的にも珍しい漁法で多くの鮎を捕獲しています。大川河口にコドを構える鮎漁歴30年以上という増子修さん(岩崎)は「どんなに時雨れた日でも鮎だけはやめられないね。」と捕れた鮎を満面の笑みで見せてくれました。

地域のつながりを大切に

11月4日(月) 海老江集落

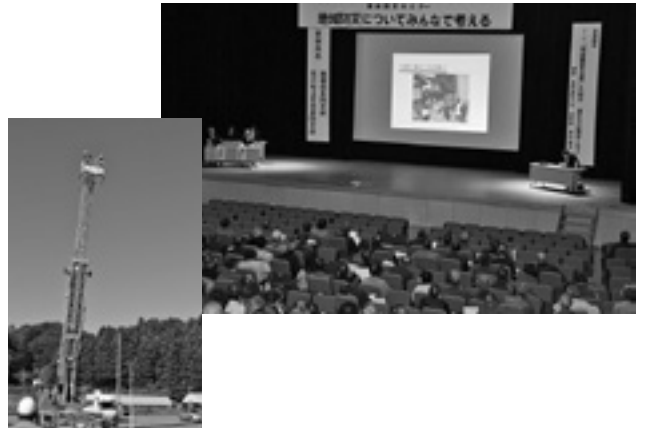


第1回収穫感謝祭が開催され、参加者は子どもたちが一生懸命ついた餅や地元食材で作ったいも煮などを堪能しました。

このイベントは、昨今希薄になってきた世代間の繋がりをもっと深めていこうと企画されたもので、会田区長は「大切な交流の場として、今後も続けていきたい」と話していました。

いざというときに地域でできることを考える

11月2日(土) 市民ふれあいセンター



村上市消防・防災フェスティバル2013が開催されました。都市防災の専門家による講演や市内の自主防災会の取り組み事例の発表が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、屋外では、消防車両の展示やはしご車の搭乗体験など、訪れた人たちが興味深そうに見学、体験する姿が見られました。



11月3日(祝) 飯岡集落
今年の鯉は、でかいぞ



飯岡淡水魚組合が、沢田堤で鯉上げを行いました。組合では、約16年前から鯉の養殖を始め、毎年5月に種鯉を放流し、11月に鯉上げをしています。今年は7人の組合員で泥水を浴びながら約150匹の鯉を上げました。50cmを超え、3・5kgもの重さのある鯉が上がるなど、今年は大物揃いで組合員みんなが喜んでいました。上げた鯉は、集落の人に買ってもらう予定です。